

2007 年 AORC（アジア・オセアニア地域会議）報告

アジア・オセアニア地域の 8 ヶ国（日本、韓国、中国、インド、インドネシア、タイ、マレーシア、オーストラリア）の NC が参加し、AORC として活動を行っています。

1. 6/11-12 Technical Meeting（マレーシア、ペナン）

参加者：約 20 名（日本、オーストラリア、マレーシア、韓国、インドネシア、中国。日本からは、小海前幹事と服部幹事）

テーマ：Impacts of Grid Codes on Planning and Operation of Power Systems

内容：Grid code をメインに、マーケット状況、電力事業の構成など、各国の電力事情のプレゼンテーションがあり、活発な議論を行った。Financial Market と Physical Market が別々に存在するオーストラリア、地域により別々の Grid code を使用しているマレーシアや、電力系統が急進している中国など、国毎の特色があふれる興味深い内容であった。日本からは小海前幹事が発表した、ESCJ という中立機関を設けて Grid code を国全体にて管理する姿勢を評価する声が各国から上がった。

2. 6/12 Administrative Meeting（マレーシア、ペナン）

参加者：12 名（日本、オーストラリア、マレーシア、韓国、インドネシア、中国。日本からは、小海前幹事と服部幹事）

主な報告審議内容

(1) 2006 年パリ大会時の AORC ミーティング議事承認

(2) 各国の一年間の活動報告

(3) 次回大阪開催の AORC テーマ（案）

1) Presentations of recent Large disturbances from AORC countries

2) System Operational Planning and Performance Analysis in AORC countries

3) Emergency Organisation and Crisis Management in System Operation in AORC countries

4) Applications of Synchronised Phasor Measurement in Power Systems in AORC countries

5) Resilience in Preventing Disturbances and Blackouts

6) Large wind power integration in system operation and control in AORC countries

(4) その他 2008 年の AORC はインドネシアで計画することに決定した。

3. 10/31 8:30-11:30 Administrative Meeting (大阪)

参加者:9名(オーストラリア Manglick AORC 議長, マレーシア Azmi 委員長, Salleh AORC 幹事, 韓国 Kim 副委員長, 日本 林委員長, 田井副委員長, 関根顧問, 小海前幹事, 服部幹事)

主な報告審議内容

- (1) 6月のAORC ペナンミーティング議事承認
- (2) 各国の一年間の活動報告
- (3) 次回 AORC 予定 (2008年4月あるいは5月。於インドネシア)

テーマ (案) : Technical and socio-economic issues related to interconnection

- 1) Regional and Domestic Interconnections
- 2) Operational Experience and Issue w.r.t. Interconnections
- 3) Technical Issues
- 4) Planning and Design Issues
- 5) Socio-Economic Issues
- 6) Environmental Issues

チュートリアル C1 : Economics of interconnections

B4 : Applications of HVDC for interconnections (B4 は日本まとめ)

(4) その他

引き続き、タイ、ニュージーランド等、CIGRE の活動が活発でない国々に AORC への参加を呼びかける。

4. 10/31 13:00-17:00 Technical Meeting (大阪)

参加者 : 21 名 (オーストラリア, マレーシア, 韓国から計 6 名。日本から林委員長, 田井副委員長他 13 名)

テーマ

- (1) Recent Large Disturbances in AORC Countries and Resilience in Preventing Disturbances and Blackouts
- (2) Applications of Synchronized Phasor Measurement in Power Systems; and Large wind power integration in system operation and control in AORC countries
- (3) System Operational Planning and Performance Analysis and Emergency Organisation and Crisis Management in System Operation in AORC countries

内容 : AORC 国内の大擾乱や、風力発電を含んだ系統の電力予想や制御、電力システムの安定化等、合計 7 件のコントリビューションがあり、活発な議論を行った。日本からは、九工大の三谷氏、電中研の由本氏、東北電力の榎本氏、日立の小海氏が発表した。

以上